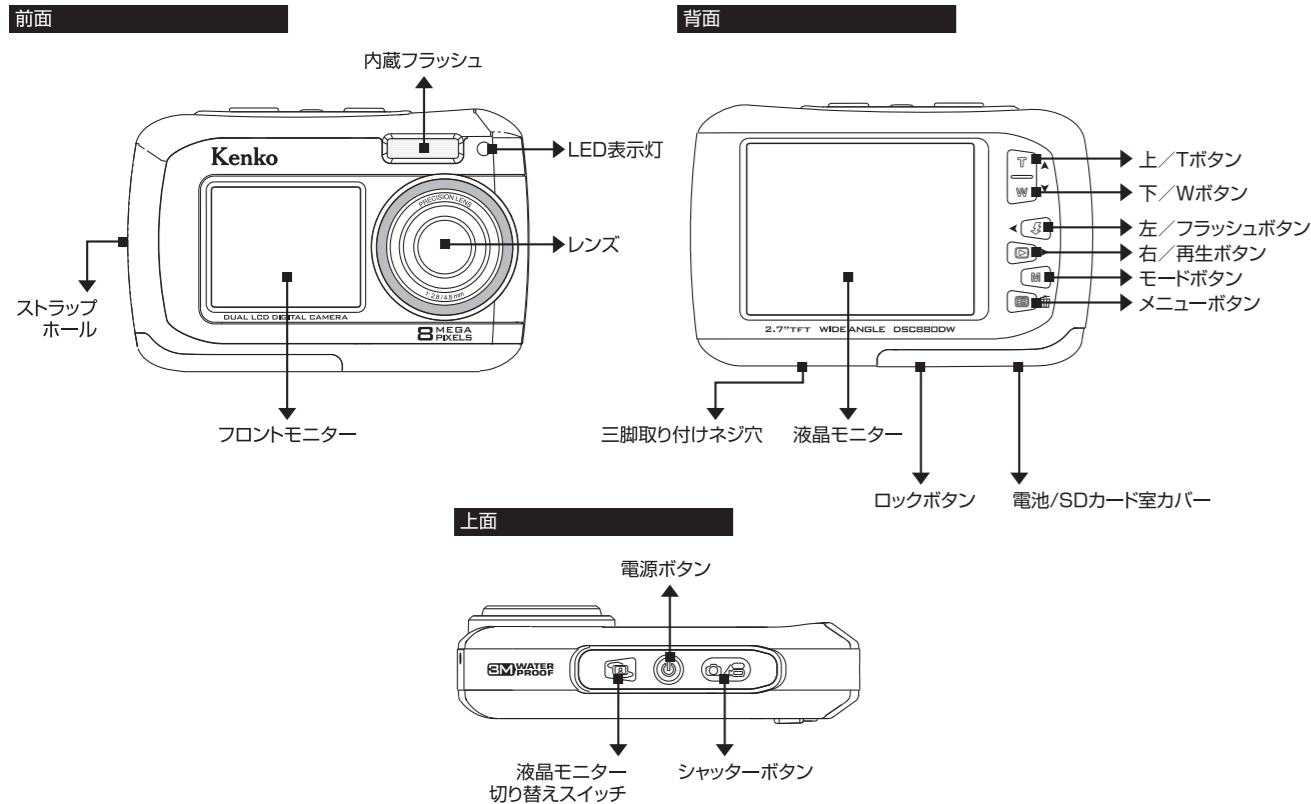
Kenko ケンコー デジタルカメラ

DSC 880DW クイックスタートガイド

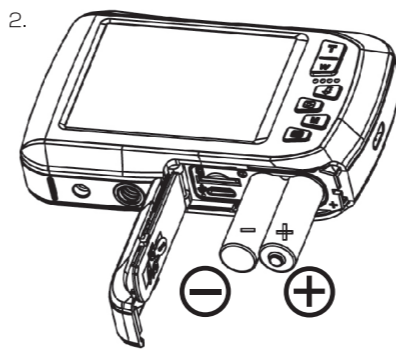
各部の名称

ボタンの機能を紹介します

ボタン	名　称	機　能
	電源ボタン	電源をオン/オフします。
	シャッターボタン	静止画モードでシャッターボタンを押すと静止画を撮影します。 動画モードでシャッターボタンを押すと動画を撮影します。再度押すと録画を停止します。
	液晶モニター切り替えボタン	液晶モニターとフロントモニターとの表示を切り替えします。
	ズーム（上／T、下／W）ボタン	静止画／動画の撮影時、ズームボタンになります。 メニュー画面の時、上下に移動して項目を選択します。
	左／フラッシュボタン	メニュー画面の時、左へ移動して項目を選択します。 静止画撮影時、内蔵フラッシュの切り替えをします。
	右／再生ボタン	メニュー画面の時、右へ移動して項目を選択します。 静止画／動画の再生をします。
	モードボタン	静止画／動画 のモードを切り替えます。 裏面の「モードの変更」をご覧ください。
	メニューボタン	静止画／動画 の設定及び、カメラの機能設定を行います。

乾電池の取り付け

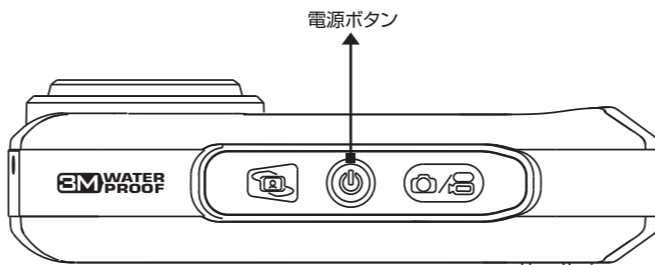
カメラに単4形アルカリ乾電池をセットします。

電池の取り付けは、ここに示す方法で行ってください。
電池の取り付け方法が正しくないと、カメラが破損したり、火災、浸水の原因になることもあります。

1. ロックボタンを液晶モニター方向にスライドしてロックを解除をしながら、
   電池/SDカード室カバーをストラップホール方向にスライドさせ開きます。
2. ⊕⊖方向を確認して、単4形アルカリ乾電池をセットします。
3. 電池/SDカード室及びカバーに砂等の異物や汚れがない事を確認してから
   電池/SDカード室カバーを閉じて軽く押しながら三脚取り付けネジ方向にスライドさせ、ロックを確認して下さい。
   ロックが不充分な場合、防水性能が維持されません。

● 電池をカメラ本体から着脱する場合は、必ず電源をオフにした状態で行ってください。
● 電池は⊕⊖方向に注意し、正しくセットしてください。

◆電池残量については、液晶モニター上のバッテリーアイコンに表示されます。
　電池残量は充分です。
　電池残量は約半分です。
　電池残量がわずかです。予備の電池を用意してください。
　「電池残量がありません」と表示され自動的に電源オフします。電池を交換してください。
◆単4形アルカリ乾電池またはニッケル水素充電池をご使用ください。
　ニッケル水素充電池を使用した場合、電池残量表示が均等に表示されませんのでご注意ください。
◆電池をカメラの中にいれたまま長期間カメラを使用しないと、電池が消耗します。カメラを長期間使用しないとき（およそ1ヶ月以上）は電池を取り出してください。
◆カメラの操作に必要な電力を得ることができないマンガン電池は、使用できません。
◆電池は、気温0℃以下または40℃以上では正常に動作しない場合があります。
　カメラを長時間使用すると電池およびカメラ本体が熱くなりますが、これは異常ではありません。

電源のオン／オフ

電源ボタンを約1秒押すと電源がオンになります。
液晶モニターがオンします。
再度電源ボタンを約1秒押すと電源がオフになります。

microSD/SDHCメモリーカード（別売）を使用する。

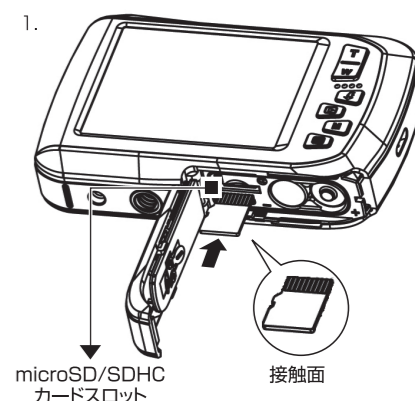
本製品で撮影した画像は、microSDメモリーカードに記録されます。
microSDメモリーカード（別売）をカメラ底面のmicroSD/SDHCカードスロットにセットしてください。
動画・静止画撮影をすると自動的にmicroSDメモリーカードに記録されます。

microSDメモリーカード

● このカメラに使用できるメモリーカードの仕様は、microSDメモリーカード128MB～2GB、microSDHCメモリーカード32GBまでです。
　その他の種類のカードを使用しますと、製品及びカードが故障する可能性があります。

microSD/SDHCメモリーカードを取り付ける

microSDメモリーカードはカメラ底面のmicroSDメモリーカードスロットにセットします。

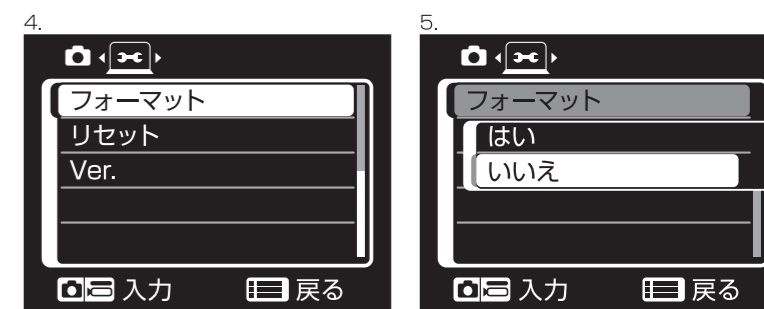
1. microSDカードスロットにmicroSDメモリーカードの接触面がカメラ後面側になるようにして、
   microSDメモリーカードがカチッと音がするまで押し込みます。
2. microSDメモリーカードを取り外す時は、microSDメモリーカードが
   カチッと音がするまで軽く押し込みます。microSDメモリーカードが少し飛び出ます。

◆ 新しいmicroSDメモリーカードを使用される際は、あらかじめmicroSDメモリーカードのフォーマット（初期化）（下記参照）をしてください。
◆ 撮影した画像に付けられるファイル名の番号（IMG○○○○）はmicroSDメモリーカード内の画像を消去しても連続してカウントされます。
◆ カメラがmicro SDメモリーカードを認識すると液晶モニターに SD アイコンが表示されます。

● 差し込みにくい時は、挿入する方向が間違っている可能性があります。無理に挿入しないでください。
● microSDメモリーカードをカメラ本体から着脱する場合は、必ずカメラの電源をオフにした状態で行ってください。
● すべてのmicroSDメモリーカードで動作を保証するものではありません。
● 他のカメラ等で撮影したファイルが保存されたmicroSDメモリーカードをセットすると誤動作する場合があります。
　必ずDSC 880DWでフォーマットしてから使用してください。

メモリーのフォーマット

メモリーをフォーマット（初期化）する機能です。

● microSDメモリーカードをこのカメラで使用する前には、必ずフォーマットを行ってください。
● フォーマットを行うとmicroSDメモリーカードに記録された全てのデータが消去され、初期化されますのでご注意ください。
● microSDメモリーカードのフォーマットは、必ず本製品のフォーマット機能で行ってください。（パソコン上でフォーマットした場合、動作保証できません。）
● 保護設定を行ったファイルでも、フォーマットを実行すると消去されてしまいます。
● フォーマットする前に必要に応じてファイルをパソコンやCDにコピーしてください。

1. カメラの電源をオンにします。
2. メニューボタンを押して「メニュー画面」を表示します。
3. 左／フラッシュボタンまたは右／再生ボタンを押して
   「設定メニュー」を表示します。
4. 上／Tまたは下／Wボタンを押して「フォーマット」を選択し、
   シャッターボタンを押します。
5. 上／Tまたは下／Wボタンを押して、「はい」または「いいえ」を選択し、
   シャッターボタン押して決定します。
   はい　：フォーマットします。
   いいえ：フォーマットしません。
6. メニューボタンを押して撮影画面に戻ります。

設定により表示されるアイコンは異なります。

◆ 黄色地が選択されています。

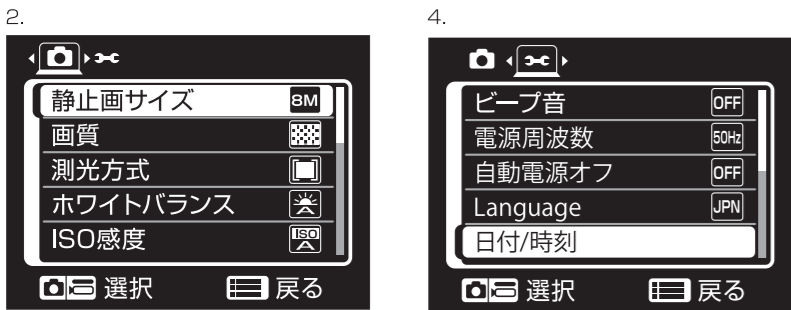
日付／時刻の設定

カメラを初めて使用する前に、日付／時刻を設定します。

1. カメラの電源をオンにします。
2. メニューボタンを押して「メニュー画面」表示します。
3. 左／フラッシュボタンまたは右／再生ボタンを押して「設定メニュー ✂ 」を表示します。
4. 上または下ボタンを押して「日付／時刻」を選択し、シャッターボタンを押します。
5. 上／Tまたは下／Wボタンを押して、年を設定し、右／再生ボタンを押して項目を移動します。
   左／フラッシュボタンを押すと前の項目に戻ります。
6. 年月日 時分すべての数値を調整しましたら、年月日の表示順を設定し、シャッターボタンを押して決定します。
   年月日の表示はYY（年）／MM（月）／DD（日）となります。
7. メニュー画面に戻ります。
8. メニューボタンを押して撮影画面に戻ります。

2.

4.

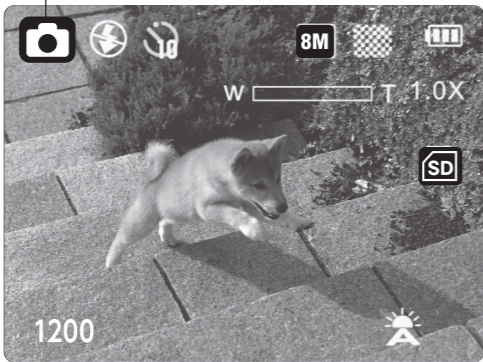
5.

設定により表示されるアイコンは異なります。

◆黄色地が選択されています。
◆日付／時刻は、静止画・動画共にファイルデータとして記録されますので、できる限り正確に設定してください。
◆日付／時刻もリセットすると出荷時の設定に戻りますのでご注意ください。

静止画の撮影

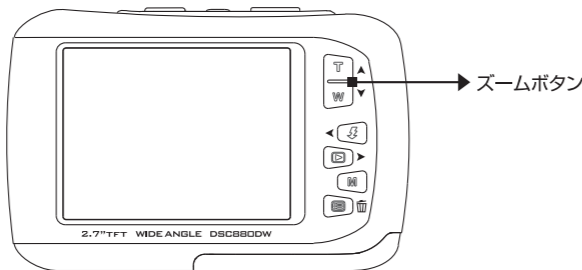
1. カメラの電源をオンにします。本機は、「静止画モード」で起動します。
2. 液晶モニター（またはフロントモニター）で、被写体を確認し、
   必要に応じてズームを使用して構図を決定します。
3. しっかりとカメラを構えてシャッターボタンを押して撮影します。
4. 撮影された静止画は、個別のファイル名が付いて保存されます。

◆ 水中で撮影した場合、全体に青っぽくなる場合があります。
　お好みの色調にしたい場合は、画像ソフト（別売）で色補正してください。
◆ 設定により表示されるアイコンは異なります。

静止画モード

ズーム撮影

デジタル4倍のズームが搭載されています。

ズームボタンのT 側ボタンを押すと、ズームイン（拡大）します。
ズームボタンのW側ボタンを押すと、ズームアウト（縮小）します。

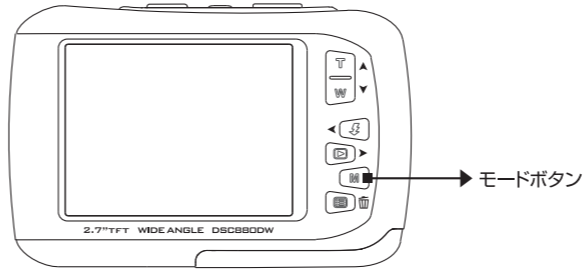
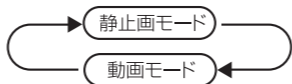
● ズームの倍率が大きくなると解像度は低下します。

撮影距離

正しい撮影距離で撮影されていない場合、ピントが合いませんのでご注意ください。

撮影距離：0.15m〜∞（無限大）

◆ 本機にはマクロモードはありません。

モードの変更

モードボタンを押すごとにモードが切り替わります。
静止画モード／動画モードに切り替わります。

動画の撮影

1. カメラの電源をオンにします。本機は、「静止画モード」で起動します。
2. モードボタンを押して「動画モード」にします。
3. 液晶モニターで、被写体を確認し、必要に応じてズームを使用して構図を決定します。
4. しっかりとカメラを構えてシャッターボタンを押して撮影します。
5. 動画撮影中に右／再生ボタンを押すと、一時停止します。
   再度、右／再生ボタンを押すと動画撮影を再開します。
6. 撮影された動画は、個別のファイル名が付いて保存されます。

● 一時停止中、「停止 ⏸ 」アイコンが表示されます。
● 動画1ファイルの最大サイズは、4GBです。

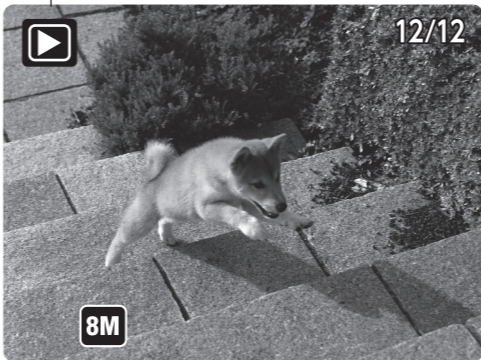
◆水中で撮影した場合、全体に青っぽくなる場合があります。あらかじめご了承ください。
◆設定により表示されるアイコンは異なります。

動画モード

静止画の再生

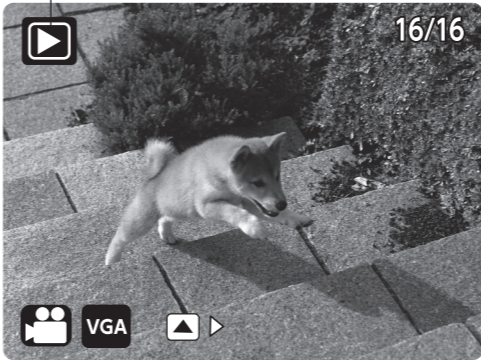
1. 電源をオンします。右／再生ボタンを押します。
   最後に撮影された静止画・動画ファイルが液晶モニターに表示されます。
   静止画ファイルを左／フラッシュボタンまたは右／再生ボタンを押して選択します。
2. ズームボタンのT側（上）を押すと拡大表示されます。
   W側（下）を押すと縮小して元に戻ります。
3. 拡大表示時、モードボタンを押すと上へ移動、メニューボタンを押すと下へ移動、
   左／フラッシュボタンを押すと、左へ移動、
   右／再生ボタンを押すと拡大部分が右に移動します。
4. ズームボタンのW側（下）を押し、縮小して元に戻ります。
   モードボタンを押すと、撮影モードに戻ります。

◆ 設定により表示されるアイコンは異なります。

静止画再生モードアイコン

動画の再生

1. 電源をオンします。右／再生ボタンを押します。
   最後に撮影された静止画・動画ファイルが液晶モニターに表示されます。
   動画ファイルを左／フラッシュボタンまたは右／再生ボタンを押して選択します。
2. 上／Tボタンを押すと再生を開始します。
   右／再生ボタンを押すと早送り、左／フラッシュボタンを押すと早戻しします。
4. 上／Tボタンを押すと、再生が一時停止します。もう一度押すと、再生が再開します。
5. モードボタンを押すと再生を終了します。動画ファイルの最初のシーンに戻ります。
6. モードボタンをもう一度押すと、撮影モードに戻ります。

◆ カメラでは、音声は再生されません。パソコンで再生時には音声も再生されます。
◆ 設定により表示されるアイコンは異なります。

静止画再生モードアイコン

安全上のご注意　必ずお読みください。

防水性能

■カメラの防水性能は、IPX8相当です。
■水中でのカメラの耐水性を維持するために、連続して60分以上使用しないでください。
■付属のアクセサリーは防水でありません。

水中で使用する前の注意

（砂だらけまたは埃っぽい環境、または水辺で次の行為を行わないでください）

■乾電池/microSDカードスロット・ミニUSB端子の周りが汚れていないことを確認し、埃や砂、または異物が中に入らないようにしてください。
■電池/microSDカード室カバーのゴムパッキンに亀裂や傷が付いていないことを確認してください。
■電池/microSDカード室カバーが閉じ、ロックがされていることを確認してください。
■カメラに異常がないことを確認します。カメラを落とした場合、販売店で故障していないか確認するようにお勧めします。

通常使用の場合の注意

（付属USB-PC接続ケーブルをコンピューターに直接接続する場合。電池/microSDカード室カバーに触れてゴムパッキンを傷つけないように注意してください。防水性能が失われる原因となります）

■水辺（海、湖、海岸など）で電池/microSDカード室カバーを開けたり閉じたりしないでください。濡れた手、または砂や埃の付いた手でカバーを開けたり閉じたりしないでください。
■カメラに使用するアクセサリー(バッテリーなど)は防水ではありません。使用の際は十分に注意してください。
■耐水性が失われることになるため、カメラを落とさないでください。
■耐水性が失われないように、40°C 以上または0℃以下の温度環境にカメラを保管しないでください。
■ご自分でカメラに防水を施したり通気口を密閉したりしないでください。カメラの防水機能が損なわれる原因となります。

カメラを水中等で使用するとき

■カメラの防水性は真水と塩水にのみ適用されます。洗剤、化学薬品、または温泉水には適用されません。このような液体がかかった場合、直ちに拭き取ってください。
■水深3.0m以上の水中では使用しないでください。
■カメラを圧力のかかった水に浸けないでください。
■60分以上長く、水に浸けないでください。カメラを水中で60分使用したら、10分以上乾かしてください。
■カメラを35℃以上の温水に浸さないでください。
■カメラが濡れていたり水中にある場合、電池/SDカード室カバーを開けたり閉じたりしないでください。
■濡れた手で電池/microSDカード室カバーを開けたり閉じたりしないでください。
■水気のあるところやプールの傍で電池/microSDカード室カバーを開けないでください。
■カメラは防塵処理を施されていません。
■カメラを水中で叩いたり打ち付けたりしないでください。電池／microSDカード室カバーが開くことがあります。

カメラを使用した後

■水中での撮影後は以下の簡単なメンテナンスで、カメラの外観、品質、耐水性が保たれます。
■海中で写真を撮影した後は、塩分を含まない水の入ったバケツでカメラを洗浄してください。電池/microSDカード室カバーが閉じていることを確認し、バケツ1杯の水に10分ほど浸します。その後、水から取り出して、カメラとレンズを脱脂綿で拭いて乾かします。カメラを通気の　よい日陰に置いて自然乾燥させます（直射日光に当てたり、風雨にさらされる場所に置かないでください）。カメラが完全に乾いたことを確認　してから、電池/microSDカード室カバーを開けてください(脱脂綿を当てて水分をよく取るか、カバー周りの他の不純物を取り除いてから、電池/microSDカード室カバーを開けます)。
■柔らかい糸くずの出ない布（繊維状の物質を防ぐため）でカメラとレンズの水滴を拭き取り、換気のよい場所において乾燥させます。電池カバーは乾燥しないうちに開けないでください。水気がある間に開けると、カメラに水が入る恐れがあります。開けるときは底面を下にして水滴がカメラ内部に入らないようにしてください。
■電池カバーを開ける前に、必ずカバー内部の水滴を拭き取ってください。

メンテナンス上の注意

■防水のシーリング材やその収縮面の埃や砂をよく拭き取ってください。埃や砂が残っているとシーリング材や面を傷つけ、防水性が落ちる可能性があります。
■石けん水、中性洗剤、アルコールまたは類似液体でカメラを洗浄しないでください。カメラの防水性が落ちる原因となります。
■防水用シーリング材の経年変化により防水性能は低下します。

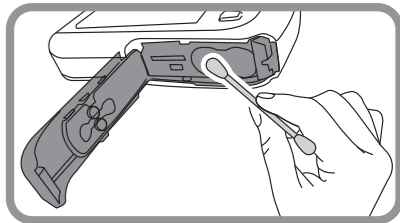
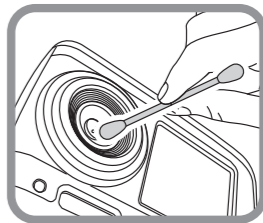
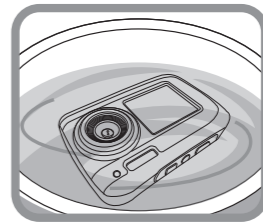
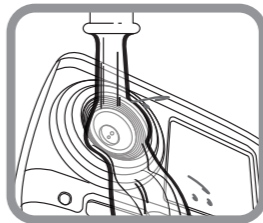
その他の注意

■水中でカメラに水が入ったり、その他の問題が発生した場合、直ちに使用を中止し適切な処置を取ってください。処置方法は販売店またはKenko「お客様相談室」にお尋ねください。

水道水で異物を洗い流します。

真水に10分程度浸します。

綿棒等で水滴を拭き取ります。

乾燥後、電池/SDカード室カバーを開きます。

※DSC 880DWのより多くの機能をお使いいただくため、
防水性を維持するためにも、取扱説明書もご覧ください。